

がん検診に関する検討会名簿

氏名	職名
安達 知子	東京女子医科大学産婦人科学助教授
遠藤 登喜子	国立名古屋病院放射線科医長
大内 憲明	東北大学大学院医学系研究科教授
垣添 忠生	国立がんセンター総長
斎藤 博	弘前大学助教授
櫻井 秀也	日本医師会常任理事
笹子 充	国立がんセンター中央病院第一領域外来部長
清水 弘之	岐阜大学医学部公衆衛生学教授
田中 憲一	新潟大学医学部産婦人科学教授
土屋 了介	国立がんセンター中央病院副院長
渡辺 昌彦	北里大学医学部外科学主任教授

がん検診に関する検討会開催要綱

1. 検討会開催の趣旨

がん検診に関する有効性評価及び精度管理等に関する検討を行う。

2. 検討会の運営

- (1) がん検診に関する検討会（以下「検討会」という。）は、老健局長が有識者の参集を求めて開催する。
- (2) 座長を置き、構成員の互選によりこれを定める。
- (3) 検討会の庶務は、厚生労働省老健局老人保健課において行う。

3. 検討事項

- (1) 地域において行われているがん検診の精度管理に関すること
 - ア 老人保健事業報告等の統計情報から得られる精度管理に関する指標の把握と評価
 - イ 都道府県及び市町村における精度管理の状況の把握と評価
 - ウ 国、都道府県、市町村等の各段階における精度管理の在り方の検討 等
- (2) 地域において行われているがん検診の有効性評価に関すること
 - ア 市町村が行うがん検診の実施状況の把握
 - イ これまでの疫学研究に関する情報収集と論点の整理
 - ウ 諸外国における検診の有効性評価に関する情報の収集 等
- (3) 新たながん検診の疫学的な有効性の評価と新たながん検診手法の検討
 - ア 既にある程度の規模で行われている検診についての疫学的な有効性の評価
 - イ 新たながん検診についての標準的な手法の検討
- (4) その他
 - ア がん検診の従事者の技術の向上のための方策の検討
 - イ がんの一次予防の方策の検討 等

4. その他

- (1) 座長は討議の必要に応じ、適当と認められる有識者等を参考人として招致することができる。
- (2) 検討会は原則として、公開とする。

今後のスケジュール（案）

※本年度は乳がん、子宮がんを中心に討議

第1回検討会（12月3日）

- がん検診の有効性の評価について
- 市町村で行われているがん検診の現状について

第2回検討会（1月上旬）

- 乳がん検診についての討議及びヒアリング
（ヒアリング予定団体）
学会、医会、医師会、自治体、検診機関等

第3回検討会（1月下旬）

- 子宮がん検診についての討議及びヒアリング
 - ①子宮頸がん
 - ②子宮体がん（ヒアリング予定団体）
学会、医会、医師会、自治体、検診機関等

第4回検討会（2月中旬）

- 乳がん、子宮がん検診についての討議

第5回検討会（3月上旬）

- 乳がん、子宮がん検診についてのとりまとめ

予備日（3月下旬）